

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成28年度)

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 160-0023

所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1
セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構

認証評価機関番号

機構 03 - 081

電話番号 03-6279-0331

代表者氏名 理事長 清水 康之

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	小出 正治	福祉、経営	H0702006
	②	田中 誠	福祉	H1501067
	③	柳 修二	福祉、経営	H0702077
	④	山村 弘	福祉、経営	H0902065
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	若葉台バオバブ保育園			
事業所連絡先	〒	206-0824		
	所在地	東京都稲城市若葉台四丁目17番地		
	Tel	042-331-6258		
事業所代表者氏名	伊藤 裕子			
契約日	2016年 9月 1日			
利用者調査票配付日(実施日)	2016年 10月 21日			
利用者調査結果報告日	2016年 12月 14日			
自己評価の調査票配付日	2016年 9月 28日			
自己評価結果報告日	2016年 12月 14日			
訪問調査日	2016年 12月 22日			
評価合議日	2016年 12月 22日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査実施にあたっては、開始時に調査の趣旨などを記した依頼状の配付やポスター掲示などで理解促進を図るとともに、開始後には提出御礼と未提出者への呼びかけを兼ねたチラシを全対象者に配付するほか、必要に応じ提出期限を延長するなどして回収率向上に努めた。 事業所に対しては開始時の説明や独自資料の提供等により、第三者評価制度や評価項目・標準項目への理解を深めてもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行えるようにするなど、自己評価がよりの確なものとなるよう配慮した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。 クリア

2017年 3月 31日

事業者代表者氏名

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが毎日を安心して過ごすことができ、心身ともに健やかに育っていける場となるように努める。 ・保護者が安心して子どもを預けられる場となるように努める。 ・保護者と共に、子どもへの理解を共有し、共に育てる関係となれるよう努める。 ・職員どうしが思いやりを持ちながら、お互いの持ち場を理解し、支え合える関係になるように努める。 ・保育所が地域の子育て世帯（妊婦から）を支える拠点になれるよう努める。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>人としての寛容さを持ち、子どもや保護者に寄り添える人。自分の保育をふり返り、同僚と共に保育を高め合い、職員集団の一人として園全体の向上を目指そうとする。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>保育園が子どもの幸せ、子どもの健やかな育ちを守る砦であること、一人一人がその砦を守る一員であることの意識を明確に持ち、その役割を果たして欲しい。その役割を果たすための組織的な努力、個人的な努力はどうあるべきかを常に考えた積極的な行動を取って欲しい。</p>

調査対象

調査開始時点での本園の利用世帯100(在籍児童数120)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。回収は事業所と協議のうえ郵送または郵送と事業所内での回収との併用にて行い、結果は選択式・自由記述とも園に報告した。自由意見については回答者の匿名性に配慮し、表記の加工などの処理を適宜行った。

利用者総数

100

共通評価項目による調査対象者数

100

共通評価項目による調査の有効回答者数

54

利用者総数に対する回答者割合(%)

54.0

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」81.5%・「満足」14.8%の計96.3%と高い値を得ており、設問別でも「食事」「急な残業等への配慮」「保護者との信頼関係」など全16問中15問で80～100%の高い支持を得ている。
自由意見では「一人ひとりの子どもを本当によく見て、その子のやりたいことや得意とすることをほめて伸ばし、苦手なことにもまず挑戦してみようという気にさせ、できるようにさせてくれており、子育ての不安も親身に聞き、一緒に方策を考えたり適切な医療機関を紹介したりしてくれる」「子どもの気持ちを大切に、それぞれのペースに合った生活を提案・実行し、成長とともに集団生活のルールを教えてくれる」「家具や設備、食事、職員など全体の雰囲気温かみがあり、子どもたちがのびのび育っている印象で、園長をはじめ職員の皆さんも保護者の意見に耳を傾けて誠実に対応してくれ、食育や情操教育も素晴らしい」「自然が多い環境を十分に活かして子どもたちは毎日楽しませてもらっており、食育に力を入れている点も素晴らしい」などの声が寄せられている。
さらなる向上を望む意見としては職員の待遇や安全衛生、保育に関することなどが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	54	0	0	0
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、有効回答者54人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見は「量やタイミングなど調整してくれている」「食事は農産物や添加物の少ないものを選んでくれ、おやつも甘いものに偏っていないところがよい」「子どものことをよく考え、身体によい食材を使っているのが助かる」「アレルギー対応ではいつも感謝している」など、全7件はいずれも肯定的な内容である。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	51	2	1	0
「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が3.7%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は5件で、「園庭を十分利用して遊ばせてくれている」「お天気な日は外遊びで、雨の日も工作・縫い物、ポシェットを編んだりとても工夫されている」「子どもの時にしかできないことをいっぱいやらせてもらっている」などのほか、戸外活動のさらなる充実を望む声もあった。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	52	0	0	2
有効回答者52人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見は「電車遅延などで『大丈夫ですよ』と言われるとほっとする」「業務が忙しくなり、急きょ延長保育をお願いした時も快く対応してくれて大変助かった」「電話の対応も優しくて助かる」の3件が寄せられている。				

4. 安全対策が十分取られていると思うか	35	14	3	2
「はい」が67.3%、「どちらともいえない」が26.9%、「いいえ」が5.8%となっている。 自由意見は10件で、「他県の侵入事件を受けて防犯カメラが設置されている」「自然と一体化した遊具がとてよく、ケガは幼少期必要であり、経験するのはよいことだと思う」のほか、外部侵入対策や保育中の安全管理などについて、気になる点や要望が挙げられている。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	52	1	1	0
「はい」が96.3%、「どちらともいえない」が1.9%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は3件で、「土曜、日曜に実施してくれるので助かる」「子どものこと、家族のことを考えてくれ助かる」のほか、行事の日程等について、さらなる配慮を望む声も見られる。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	52	1	1	0
「はい」が96.3%、「どちらともいえない」が1.9%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は7件で、コミュニケーション機会の設定についての意見のほかは、「いつでも気になった時に声をかけられ、また声をかけてくれる」「ベテランの職員の方も多いが若い方も子どもの様子を教えてくれ、とてもいい関係が保っている」「心配なことを伝えようとするといつも時間を取ってくれる」など、いずれも肯定的な内容となっている。				
7. 職員は保護者の考えを聞く姿勢があるか	51	3	0	0
「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%となっている。 自由意見は「相談に乗ってくれるのでとても信頼している」「時間がある時は今日あったことを伝えてくれるので、それをきっかけに相談しやすい」の2件が寄せられている。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	46	7	1	0
「はい」が85.2%、「どちらともいえない」が13.0%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は6件で、「いつもとても綺麗である」「清潔で、旬の野菜を飾ったり季節によって活ける花を変えたり、木の温もりがたっぷりの素敵な空間である」「木の机やイスがとてよい」などのほか、各室内の清掃・整理整頓や衛生管理などについて、さらなる配慮を望む声も見られた。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	48	4	2	0
「はい」が88.9%、「どちらともいえない」が7.4%、「いいえ」が3.7%となっている。 自由意見は5件で、「変な人はいない」「皆とても清潔感があり、安心できる」などのほか、職員の接遇マナーや身だしなみについて、さらなる配慮を望む声も寄せられている。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	49	4	1	0
「はい」が90.7%、「どちらともいえない」が7.4%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は5件で、「子どものケガは次から起こらないように工夫してくれる」「翌日にも様子を尋ねたりしてくれる」「いつも気にかけてくれる」のほか、ケガや体調急変等の把握・対応、保護者への連絡・報告などについて、さらなる配慮を望む声も見られる。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	46	2	1	5
<p>「はい」が93.9%、「どちらともいえない」が4.1%、「いいえ」が2.0%となっている。 自由意見は4件で、「子どもの気持ちを第一に、まずは子ども同士で話し合い、その様子を見ながら解決が無理そうであれば大人の出番、というのが素晴らしい」「よく子どもの話を聞いてくれるようである」「常に子どもが気持ちを言葉にできるように心がけられている」のほか、子ども間のいさかい等の際の保護者への情報提供について、さらなる検討を望む声も見られる。</p>				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	52	2	0	0
<p>「はい」が96.3%、「どちらともいえない」が3.7%となっている。 自由意見は7件で、子どもの気持ちを大切にされた対応について、さらなる配慮を望む声が1件見られたほかは、「子ども一人ひとりに向き合ってくれていることをありがたく思っている」「子どもと先生方の信頼関係がよく出てきていると思う」「同じことをするように強制されないの、とてもマイペースに過ごしている」など、いずれも肯定的な内容となっている。</p>				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	45	5	1	3
<p>「はい」が88.2%、「どちらともいえない」が9.8%、「いいえ」が2.0%となっている。 自由意見は4件で、「いろいろなことをまわりにわかってほしいのでプライバシーはまったく気にしていない」のほか、プライバシー保護等へのさらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	50	3	0	1
<p>「はい」が94.3%、「どちらともいえない」が5.7%となっている。 自由意見は4件で、「懇談会の時、詳しく教えてくれる」「職員の子どもに対する対応が親と一緒になのでとても安心している」「クラスと園のお便りや壁新聞で他のクラスのこともわかる」のほか、保育内容等に関する説明・発信について、さらなる配慮を望む声もあった。</p>				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	37	4	0	13
<p>「はい」が90.2%、「どちらともいえない」が9.8%となっている。 自由意見は6件で、「不満がない」「きちんと返事と説明をしてくれていると思う」「聞いてもらえるとホッとして不満が消えることもある」などのほか、不満・要望等への対応などについて、さらなる配慮を望む声も寄せられている。</p>				
16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	38	1	2	13
<p>「はい」が92.7%、「どちらともいえない」が2.4%、「いいえ」が4.9%となっている。 自由意見は「定期的にお便り等で案内がある」「懇談会で説明がある」「お便りに書いてあった」の3件が寄せられている。</p>				

I 組織マネジメント項目 (カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	
	評価 () 標準項目 () 評点 (〇〇〇)	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	評価 () 標準項目 () 評点 (〇〇)	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	
	評価 () 標準項目 () 評点 (〇〇〇)	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく
	カテゴリ1の講評	
	保育や子どもの育ちに寄せる法人の思いを、さまざまな方法で関係者に発信している 子どもの自己肯定感とさまざまな人々と認め合える開かれた心を育むことを大切にしながら、そうした営みを保護者ととともに進めてゆくことを法人共通の願いとし、職員には入職時の教育機会のほか、園内の年度開始時の全職員参加の会議などの機会に確認を促している。保護者には見学・入園時の説明のほか、毎月の園便りの巻頭につづられる園長のコラムを通じ、日々子供や保護者と関わる中で得た今どきの子育てについての気づき、園の取組や日々の様子などを発信することで、保育や子どもに寄せる園の思いを各家庭と共有できるようにしている。 園の思いや活動を発信し、保護者・職員や地域と園をつなぐ存在であることに努めている 法人における人材育成・内部研修体制と連動した職階区分が定められ、園長・副園長を管理者層として、その他の職位とともに必要な研鑽と自覚、階層ごとの研修プログラムの考えなどが示されている。園長は園の思いや子育ての知見、保育や育児に関するさまざまな情報・情勢を、保護者や職員に発信できる存在であるべく取り組むとともに、会議や日々の現場から子どもや職員・保護者の状況を把握し、それぞれに最適な支援を行うべく努めている。また地域の資源として園に期待される社会的役割の遂行に向け、地域への子育て支援の充実を課題と考えている。 園・法人の各単位で、重要案件の検討や決定事項等の伝達の手順が定められている 園内の重要案件の検討は、クラス・ブロック単位の会議で現場の課題や要望・提案を話し合い、それを毎月の運営委員会や随時の連絡会議、全職員参加の年3回の会議などで検討・決定する流れを基本とし、欠席者や准職員にはそれらの記録の供覧やクラス単位での個別伝達によって決定事項等を通達しており、保護者には主に書面の配付・掲示や園便りによって重要な決定・変更を伝えている。法人としての意思決定は理事会や各園園長による毎月の企画調整会議で行い、決定事項や法人としての施策方針などを各園に展開することとなっている。	

カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域との関係機関との連携を図っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域との関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
法人・園の各単位で、職員が守るべき各種の倫理・規範に関する啓発がなされている 保育課程や「職員綱領」に子どもの尊厳・存在の尊重、保育者としての研鑽、保護者や地域との連携などを定めるほか、全職員必携の手引き書「BBハンドブック」中にも社会人としての基本心得や守秘義務、子どもへの接遇に関する事など各種の倫理や規範を記載し、入職時にこれらに関する啓発を行っている。また年度開始時に開く全員参加の「顔合わせの会」で「新年度を迎えるにあたって」を配付し、保育目標をはじめとする園の目指す保育や子育てのあり方、子どもの人権・尊厳や保護者の心情に配慮した接遇、個人情報保護などを確認している。 地域の子育ての拠点として、園の情報とさまざまな専門資源を積極的に提供している 地域のNPOとも協働し、在宅世帯へのさまざまな子育て支援を行っている。一時保育「らっこ」や出産前後の保護者向けの各種講座・相談事業「ウェルカムベビーの会」、園庭や専用室「スイミーの部屋」での遊びと交流の場の提供など、園を拠点とする取組に加え、市の施設での出前保育や関係機関への資料の提供、各子育て支援機関での講演や課題検討のコーディネートなど、地域の拠点としての啓発活動も積極的に行っている。法人のホームページや玄関前の掲示板、稲城市の各種媒体での情報発信、市内各所での広報など、透明性の向上にも取り組んでいる。 ボランティア等の受け入れや市内・地域内の関係各機関との連携にも取り組んでいる 職場体験の中生や社会福祉協議会の紹介によるサマーボランティア等を、「BBハンドブック」に記載の手順に沿って受け入れ、各種心得の説明と誓約書の取得を行っている。市の私立園長会では施策動向や市内各園の状況等に関する情報交換のほか、当園園長が研修担当として宿泊研修等の企画に携わっている。市の社協の会議や中学校区単位の「地域教育懇談会」では、市内の福祉や子どもの健全育成等に関する課題検討に合わせ、市とは保育所入所に係るポイント積算の仕組みを話し合い、改善につなげるなど、各機関との連携・協働も活発に行っている。		

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
個別の要望・苦情等をさまざまな方法で把握し、対応や改善への反映に取り組んでいる 1階廊下に設けた「何でもご意見箱」と第三者委員を含む苦情解決制度を通じ、匿名性に配慮した要望・苦情等の収集を行い、同制度については2歳児室内での掲示や入園時の説明と関係資料への記載、ホームページへの掲載などによって周知を図っている。寄せられた保護者の声は、日々の会話・連絡帳や各世帯との面談等を通じて随時把握される日常レベルの個別の意見・要望とともに、組織内で共有のうえ案件に応じて対応・解決を図るほか、苦情解決の状況等はホームページ上で公表し、今年度の外部侵入対策の強化など、改善にも適宜反映させている。 保護者の全体的な意向についても把握の機会を複数設け、課題検討の参考としている 保育参加や「プレイデー(運動会)」「バオバザール」など、保護者参加の各行事では自由記述式のアンケートを実施し、参加後の感想や園への要望などを募り、集約と課題抽出を行うとともに、主な意見の抜粋など結果の概要を園便りに掲載して保護者にも報告している。また今回を含む第三者評価機関による利用者調査についても、同様に集計結果を職員間で検討のうえ、概要や主な自由意見などへの回答を書面で保護者に伝えている。その他定期的な懇談会もや前述の各種行事でも意見に耳を傾けるなど、さまざまな方法で保護者の全体的な意向を把握している。 地域の保育ニーズや子育ての状況、保育・福祉に係る各種情報の収集にも取り組んでいる 見学者や各種子育て支援活動の利用者との会話から地域の保育ニーズや子育て事情を把握しており、前述の市の入所審査のポイント積算に関する改善は、イベントでの来園者からの声が市への働きかけのきっかけとなっている。子育て支援の利用者にはアンケートもを行い、講座のテーマや企画の検討の参考としている。また市の各種通達や私立園長会、保育団体の各種発信や研修などから、国・自治体の保育や福祉に係る政策・制度の動向を随時収集し、事業計画の検討や職員への啓発などの参考としている。		

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	
<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	
<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
<input type="radio"/> 非該当		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	
<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	
<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	
<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	
<input type="radio"/> 非該当		
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	
<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	
<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	
<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	
<input type="radio"/> 非該当		

サブカテゴリ-2(4-2)		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>法人の長期的な経営方針のもとで、園単位の中・長期及び年度の各計画を作成している</p> <p>法人が24年度からの各5年3期の15年計画を策定しており、第1期の最終年にあたる今年度に予定していた計画の見直しを、今般の社会福祉法人制度改革等への対応を優先して29年度に延期し、これに代えて見直しの際に念頭に置くべき諸課題を定めている。園単位では27年度からの5か年にわたる計画に各年度の重点課題と工事・補修に関する見通しを定めるほか、年度の事業計画に前年度の振り返りと今年度の目標、その他保育や組織運営・人材育成等に関する方針を記載し、併せて保育・行事や避難訓練など分野別の年間計画を作成・実行している。</p> <p>短期の各活動は現場の参画のもとで実行され、さまざまな外部の事例も参考としている</p> <p>年度の園の事業計画は園長作成の原案をもとに現場の意見を踏まえて作成され、理事会での承認と年度開始時の職員への提示を経て、年間の園運営の指針とされている。また「ワークショップ」「プレイデー」など主要な行事及び園便り・子育てひろば事業などの各業務は担当の委員会・係が主体となって実行され、それぞれに目標・ねらいの設定と実施後の反省、行事における準備・開催の進捗管理など、計画的な運用が図られている。法人内の各園合同の会議や市・地域の各ネットワーク、各種メディアからの情報など、園外の参考事例の把握もなされている。</p> <p>防災・防犯対応や現場のケガ等の収集・共有など、安全の確保・向上に取り組んでいる</p> <p>毎月の訓練実施によって地震・災害や不審者侵入への対応を確認するほか、毎月行う事故防止チェックによって設備面及び保育中の安全配慮に関する危険防止の状況を点検している。保育中のケガ及びヒヤリハット事例はリスクレベルに応じ所定の様式や園日誌に記録するほか、日中の打ち合わせ等での報告と注意喚起を行っている。またこれをもとに、設備・環境と援助の両面から再発防止策の検討がなされている。全職員がAED講習を受講し、救急救命講習の実施については市の消防署の優良証交付を受けるなど、職員への安全に関する啓発にも取り組んでいる。</p>		

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ5-1		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを越えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
職員の採用及び育成に関する法人共通の仕組みが整備され、各園で運用されている 人材の確保は、常勤職員は法人が行って毎月の企画調整会議で報告・承認し、准職員は各園で行っている。常勤者の選考は書面・筆記試験と面接及び実技で行い、面接に各園園長が関わることで、法人・園の必要とする人材の獲得につなげている。また法人共通の人材育成や自己研鑽の基本指針「『職員としての育ち合い』ファシリテーションプログラム」と、対応する能力・資質と求める研鑽の指標が定められるほか、全職員による「振り返りと学び(自己評価)」の提出と園長との面談を通じた、個人別の緩やかな目標管理による資質向上が図られている。 個別の目標管理と各種研鑽機会の活用によって、各職員の能力向上を支援している 上記の目標管理では、前年度末に設定した当年度の目標・課題について、年度末の面談で達成評価を行うほか、別途「キャリアアップ計画表」に内外の研鑽の計画などを記載し、これを踏まえて研修派遣や職場内指導、自己研鑽などを行うこととなっている。上記の「～ファシリテーションプログラム」の精査・充実やこれらの目標管理との運動など、人材育成制度としての機能向上を課題としている。法人合同の各種研修のほか、自治体や関係団体等による外部の専門研修への参加がなされ、学習成果は報告書・資料の供覧や報告会の開催によって共有を図っている。 会議を活用した課題検討や就労環境の整備など、組織力の発揮と向上を図っている 毎月の「子どもの話」では保育の月案の振り返りを軸に、保育や安全面などの活動の共有と課題検討がなされており、中間・期末の振り返りでは、各クラス及び専門職が提出する反省や子どものエピソードを題材に、個々の子どもの育ちを共有しつつ、組織的に保育観を深めている。各職員の処遇等に関する意向は経営層による面談などから把握し、必要な対応に反映させるほか、退職金や各種休暇・慶弔見舞金などの諸制度が整備されており、職員自己評価で見られる労働環境面などの意見についても、組織内の相互理解や業務の見直しなどに取り組む意向である。		

カテゴリ7	
7	情報の保護・共有
サブカテゴリ1(7-1)	
情報の保護・共有に取り組んでいる	
サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7	
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している <input type="radio"/>非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
カテゴリ7の講評	
書類・データの各種情報について、組織内での共有と漏洩の防止が図られている 各種の書類は事務室内での使用と管理を原則とし、機密性や内容に応じて保管場所を設定し、書棚への施錠を適宜行うほか、古いものは順次2階の休憩室内への移動または廃棄を行っている。電子データは共用サーバとLAN接続による共有を行うとともに、必要に応じてアクセス権限を設けるほか、各PCには使用者によって共通または固有のパスワードを設定するなど、職位に応じた情報の利用・共有がなされている。また事務室を含む園舎全体が機械警備で保護され、敷地内各所への防犯カメラ設置とともに、情報漏洩の予防措置がなされている。 保護者に個人情報の利用目的等を伝え、肖像利用等に関する意思確認を行っている 「生活状況調査票」など、保護者が入園時に子どもや家庭の各種情報を記入する各書式に、それぞれの情報の利用目的を記載するほか、ホームページや取材など対外的な発信媒体での子どもの肖像の利用、登降園時のチェック表への記入及び園内での写真掲示については、それぞれ書面による意思確認を毎年度行っている。開示請求への対応については、法人ホームページ上の個人情報保護方針に記載するほか、法人共通の請求や決定通知の様式が整備されている。 職員・ボランティア等に対し、個人情報保護の徹底を促すための啓発がなされている 「BBハンドブック」に、事務作業時及び日常の業務で使用する各書式の記入時の心得、保護者との会話などの際の諸注意や、情報の保管・廃棄の際の原則・データ情報の園外持ち出し禁止などを定め、入職時の同ハンドブックの説明の際にこれらについても職員に確認を促すとともに、准職員を含む全員から誓約書を取得している。また年度開始時の「顔合わせの会」においても、他の各種規範とともに、書類の取り扱いへの配慮を確認している。ボランティア等には受け入れ時の留意事項の説明と誓約書提出によって、守秘義務の厳守を求めることとなっている。	

カテゴリー8	
8 カテゴリー1～7に関する活動成果	
サブカテゴリー1(8-1)	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>地域への子育て支援の充実が図られ、各機関や行政との連携にも進展がなされている</p> <p>地域への子育て支援の活動に注力し、その充実を図っている。出産前後の保護者を対象とした「ウェルカムベビーの会」では、新たにベビー用品限定のフリーマーケットを企画開催し、妊娠中の方を含め、来園の機会づくりにもつなげられている。また市の依頼を受け、市内の保育所や図書館・児童館等の関係者を対象に、子育て支援に関する講演や連携協力の呼びかけなどを行い、席上でのグループワークなどもなされている。さらに園長がかねて指導役として保育士志望の生徒への助言を行ってきた高校で、今年度から職業指導の授業も開始されており、授業を受けた高校生がボランティアとして来園するなど、継続したつながりが持たれている。また地域の要請に応じて行ってきた双子世帯の支援「ふたごの会」で寄せられた声をもとに市に働きかけ、保育所入所の審査における双子世帯へのポイント加算の制度化を実現させるなど、地域の拠点としての役割の発揮にも努めている。</p> <p>その他法人において、今年度パワーハラスメント規程が整備され、各園で職員への提示と周知がなされている。当園でも年度末に職員同士の関わりや同僚性の向上の観点から研修を行い、浸透を図っている。</p>	
サブカテゴリー2(8-2)	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>会議を活用した組織的な研鑽を活発に行い、就労環境の向上にも取り組んでいる</p> <p>毎月の「子どもの話」では、保育の月案の振り返りを軸に、子どもの姿と保育者の関わり、養護・教育の各観点からの保育活動、安全面など、さまざまな分野に関する課題の共有と検討がなされ、准職員とも適宜関連する話し合いの場を設けてその成果などを共有している。また中間・期末の年2回実施する振り返りでは、各担当が担当クラスの生活の様子や子ども一人ひとりの姿・エピソード、クラス運営上の反省などを資料にまとめ、調理・看護の各専門職と子育てひろば担当者から提出される振り返りと併せ、集約して全職員に配付し、その読後の感想や質問・意見を各職員から各担当に向けてつづり、その集約資料をさらに配付して、それをもとに話し合いを行っている。取組は子ども一人ひとりの育ちの現況の組織全体での共有とともに、各職員の保育観や子どもの発達等に関する見識を深め、感性をより豊かにする機会としても位置づけられている。</p> <p>また主な会議の時間帯を昼に移し、家庭を持つ職員の負担等に配慮するほか、園独自に産業医と契約するとともに、新たに設けた「安全衛生委員会」で職場内のストレスチェックや健康相談などについて検討を進めるなど、職員のメンタルヘルスキアの充実を図っている。</p>	
サブカテゴリー3(8-3)	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>保育におけるさまざまな面で、改善・充実や新たな取組がなされている</p> <p>「児童票」と呼ばれる個別計画の書式を改定し、子どものエピソードや折々の姿・育ちをより細やかに記載できるようにするとともに、配慮事項の記載についてもより個別状況の違いを踏まえて記入できるようにしている。また1・2歳児のクラス編成と部屋割りを見直し、混合3クラスから年齢別クラスに再編するとともに、保育室のうち一つをフリースペースとして活用するようになったほか、これを含め、年間の各期の保育活動と子どもの心身の発達の推移を踏まえ、各年齢で保育室内の環境構成の見直しを随時行っている。さらに防犯カメラの増設と監視画像の録画開始、警察署の協力のもとでの不審者対応訓練の実施など、防犯面の強化もなされている。</p> <p>その他、2年後の創立20周年も見すえた、卒園児向けの便り「ハオバブ広場」の発行開始、4・5歳児各室の掲示板を活用した子どもたちの「おたのしみ会（発表会）」に向けた取組の発信、法人ホームページの全面刷新など、情報提供面でも園・法人の各単位で充実を図っている。</p> <p>法人においては在職4年目以上の中堅職員を対象とした合同研修を新設し、事例共有やエピソード検討などを通じ、同じ職階同士の関連な意見交換と研鑽を促している。</p>	

サブカテゴリー4(8-4)	
事業所の財政等において向上している	
評価項目1	
財政状態や収支バランスの改善へに向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>財政・収支バランスの最適化に向け、さまざまな取組を行っている</p> <p>法人及び各園の収支管理は、業務委託する会計事務所の支援のもとで、年間及び月次の予算に基づいて行われている。日常的な節電・節水や裏紙の活用をはじめとする省資源化の励行、各種日用品・消耗品等の調達の際の価格・購入方法の検討や在庫確認など、現場レベルでの経費抑制やコスト意識の啓発のほか、27年度策定の5か年計画を踏まえた設備等の修繕も予算化のうえで適宜進めるなど、計画的な支出に努めている。</p>	
サブカテゴリー5(8-5)	
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<p>内外の保護者の声を運営の参考とし、さまざまな成果に結びつけている</p> <p>上記の防犯セキュリティ面の向上に係る設備・訓練の各取組は、子育てひろばの各活動の実施中の侵入対策を懸念する保護者の声をきっかけとして検討され、実現しており、これらと併せ、ひろば開催中の門扉・玄関の施錠についても徹底が図られている。また行事においても、保護者の意見をもとに検討し、職員が着用するTシャツとフェルト製の名札を作製して、保護者が職員を容易に識別できるようにしている。</p> <p>地域ニーズの活用についても、アンケート結果をもとにした各イベントの企画検討のほか、前述の「ふたごの会」での意見を踏まえた市への働きかけと制度改正など、さまざまな取組がなされている。</p>	

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリ1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評			
<p>刷新したホームページや各種パンフレット等を通じて園の情報を提供している 今年度、法人のホームページがリニューアルされ、デザインやページ構成が一新されている。系列園共通の保育理念や心がける保育のあり方などのほか、当園の概要や子育て支援情報などを掲載し、フォトギャラリーに園や子どもの様子を掲載するなど、利用希望者等への情報提供の充実も意識した工夫を盛り込んでいる。見学者向けには園の保育目標や心がける保育等の情報を掲載した園のパンフレットのほか、子育て支援や一時保育のパンフレットを用意して来園時に配付している。</p> <p>市の各種媒体や関係機関を通じて、園の情報や子育て支援の活動を発信している 市のホームページに市内の認可園の所在地や連絡先が一覧表で掲載されるほか、園の専用ページも設けられ、基本情報・開所時間・受入年齢・認可定員を確認できるようになっている。市の冊子「保育園入園案内」にも同内容の情報が掲載され、市のサイトから入手することができる。園の地域向け掲示版に子育て支援関連の案内を貼るほか、園や一時保育、子育て支援などの各種パンフレット、子育て支援情報誌「スイミー通信」を市役所等に常備して自由に手にできるようにし、「バオバザール」などの園行事のポスターを近隣の商業施設で掲示している。</p> <p>見学の受け入れは希望に応じて柔軟に対応し、園の特徴などを説明している 見学は電話で予約を受け付け、土曜日や夕方時間帯、突然の来園による見学希望にも可能な限り応じられるよう配慮するほか、地域支援で取り組んでいるひろばの活動日に遊びに来られるよう声かけもして、同席した家庭との交流にもつなげられるようにしている。園等のパンフレットを配付し、園の沿革や保育の特徴などを説明するほか、幼児のクラスや園庭で遊んでいる様子を見てもらい、遊ぶ環境や職員の見守り方などを説明している。また第一子を預ける予定の家庭の不安を軽減できるよう、丁寧な説明や対応を心がけている。</p>			

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6 / 6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
入園前に説明会を開催して必要な説明を行い、質疑応答をもって保護者の同意を得ている 入園前には入園決定者合同の説明会で、利用開始にあたっての必要事項を伝えている。「若葉台パオパブ保育園の概要(重要事項説明書)」「入園のしおり」や「保育園をご利用にあたってのしおり」に基づき、年齢ごとの発達の特徴、園利用時の依頼事項や保健などのほか、持ち物についてはサンプルを展示し、行事はスライドショーを活用して説明をしている。説明終了後には質疑応答を行って、疑問や不安が残らないよう心がけるとともに、これをもって説明に対する同意確認とするほか、写真等の個人情報の取り扱いに関する同意を書面によって確認している。			
入園後の支援に向けて、入園前までの子どもの状況等を面談で確認している 入園前には、保護者から提出される「生活状況調査票」や「保育予備調査票」などを参考に個別の面談を行って、保育開始に必要な子どもの状況等を確認して入園後の支援に活かしている。食事・睡眠・排せつや生活リズム・食物アレルギーを含む健康面などの入園前までの子どもの状況、保護者の就労や意向などを確認して所定の様式に記録している。面談で得られた延長保育や早期土曜保育やアレルギーに関わる内容は、園内で共有して園全体で支援できるようにしている。			
入園当初の配慮で親子の安心につなげ、卒園後の継続的な見守りにも努めている 入園当初には保護者の就労や子どもの状況に応じ、徐々に時間を延ばす「入園当初の保育時間」の仕組みを設け、子どもが無理なく新しい環境になじめるよう配慮するほか、可能な限り特定の保育者が関わるようにしている。入園式翌日には保育参加の機会を設け、保護者・保育者が互いの食事提供の様子などを参考にできるようにし、保護者の安心につなげている。利用終了後には園行事の招待状のほか、卒園生向けの便り「パオパブ広場」を今年度送付している。さらに「中学入学を祝う会」「二十歳を祝う会」などのイベントで長期の関係継続にも努めている。			

サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3の講評		
<p> 保護者との連携のもとで子どもの状況を把握し、発達の推移がわかるようにしている 入園時の面談では子どもの成育歴や健康状態などを把握している。また日々の子どもの様子は送迎時のコミュニケーションや「子育てノート」によって確認している。年1～2回の面談においても子どもの状況を伝え合い、保護者の意向等を子どもへの支援に活かすほか、保護者の悩み等も聴いたり、安心できるように配慮し、保護者の安心感から子どもの情緒や園生活での安定にもつなげられるようにしている。なお、これら子ども一人ひとりの全体的な姿は児童票に個別に綴り、発達等の推移がわかるようにしている。 </p> <p> 各種の計画を作成し、子ども一人ひとりの姿や興味に即して柔軟に展開している 保育課程をもとに年間指導計画を策定し、月・週の計画へと展開している。年間指導計画等を見直すとともに、「一人ひとりの育ち」を作成し、個々の子どもの育ちをとらえ、発達の見通しや子どものエピソードなども含めて全職員で多面的な視点から考察するほか、一人ひとりの子どもの様子やクラス全体の姿を年間で見直し、保育実践へとつなげている。また年間の中間や年度末の保育内容や配慮などについての振り返りとその後の計画への反映が行われるほか、日々の子どもの姿や興味に即して計画を柔軟に変更している。 </p> <p> 園全体で子どもの姿や配慮事項等を共有し合い、子ども中心の保育実践につなげている クラス会議では日々の口頭での共有等で重ね合いながら大人の関わりや配慮、その時の子どもの興味や気持ちを共有できるようにしている。また「子どもの話」という会議では乳児・幼児のブロックごとで、各クラス担当に加え、朝夕・早朝の職員等も参加し、日中の子ども同士のやり取りや今の育ちなど、エピソードを交えた内容を伝え合うとともに、子どもへの個別の配慮や支援の方法、関係機関との連携など、子ども主体の関わりや配慮を園全体で共有している。これらの職員間の意識共有を重ねながら、子どもを中心に考える園の思いを実践につなげている。 </p>		

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評		
情報の取り扱いや子どもの生活場面におけるプライバシーへの配慮に努めている 入園時には「入園のしおり」に記載の「個人情報の保護について」の説明がなされているほか、写真や雑誌等の取材での掲載に関する取り扱いについては毎年、保護者の承諾を得ることとしている。子どものプライバシーへの配慮として、夏の時期にはプールやシャワーの場所を囲うなどして、外部からの視野を遮っている。また日々の生活の中での着替えの際、身体測定や検診時などでは裸にならないような声かけをするほか、トイレには扉付きの個室も準備するなど、それぞれの年齢等に応じた羞恥心への配慮に努めている。		
職員の基本姿勢をマニュアルに示すほか、保育実践を通じて子どもの人権に配慮している 乳児には子ども一人ひとりの月間指導計画を作成し、個別の配慮を行うほか、幼児では児童票の様式を変更し、折々にとらえた子どもの様子を踏まえた援助ができるようにしている。子どもの気持ち・主体性を大切にするため、保育の内容を各種会議で職員全員と共有して最適な支援を行えるようにするなど、法人共通の園目標を基本に子ども一人ひとりを大切に考えて保育に取り組んでいる。また、系列園共通の「BBハンドブック」等に子どもを尊重する基本姿勢を示し、入職時の研修等で周知を図り、年度当初にマニュアルの読み合わせで徹底に取り組んでいる。		
マニュアルを整え、地域会議の報告事項等を共有して虐待の防止に取り組んでいる 虐待防止に向け、「虐待対応マニュアル」に虐待の定義や園の役割、発見のポイントなどを示し、これに基づき登園時の視診等から傷や衣服の乱れなど虐待の予兆の把握に努め、疑いがある場合にはフローチャートに沿って処理したうえで子育て支援センター等に通告し、必要に応じて関係機関と連携する仕組みとなっている。地域の幼稚園・保育所・小学校の連携会議に職員が参加し、報告事項等を園内で共有して理解を深める機会としており、自園の仕組みを再確認する機会の設定を課題と考えている。		

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
6	事業所業務の標準化	11/11
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー6の講評		
系列園共通のマニュアルを整え、研修や会議等を通じて周知徹底に取り組んでいる 法人系列園共通の「BBハンドブック」に職員が守るべき倫理・規範等を示すとともに、各種業務手順を「保健衛生マニュアル」や「危機管理マニュアル」に示し、それぞれ常勤職員に配付するほか、事務室に常備している。これらは入職時の研修で周知されるほか、年度当初の職員会議で准職員を含む全職員で再確認の機会を設け、継続的に意識できるよう取り組んでいる。またブロック会議等で読み合わせをするほか、月間・中間・年間の振り返りの会議の際に点検の機会としているとのことである。		
職員の提案や保護者の意見等を踏まえて業務等の改善や見直しを行っている マニュアルの見直しは系列園の副園長が中心となって検討する仕組みとなっている。年度末に行う年間の振り返りで業務等の見直し行っており、その際には保護者の意見・要望や職員の意見を参考にして改善に取り組んでいる。保護者から寄せられた要望等は園内で検討されるほか、園内の課題等は各種会議での職員の提案や意見を確認して見直されており、幼児の児童票の様式を変更して、その時々での子どもの様子をきめ細かくとらえられるようにしたり、子どもたちが行事に向けて取り組む過程を掲示する取組を行うなどの成果につなげられている。		
安全点検や職員の資質向上を通じて安全な保育提供の確保に取り組んでいる 「安全防災委員会」が中心となって園内外の安全確保に取り組んでおり、毎月1回チェックリストに基づき園内外の危険箇所をチェックするほか、毎朝園庭の点検も実施し、園庭の樹木の枝をこまめに切るなどの対応を行っている。同委員会では避難訓練の開催や反省などを行っており、消火器位置や110番通報の位置をレイアウト図に追記するとともに、ツアーを組んでその設置場所の確認をしている。毎年准職員を含む全職員で救急救命の講習を受講するほか、職員会議で看護師による保健指導なども行われるなど、職員の資質の維持向上にも取り組んでいる。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	37/37
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけられることができるよう、環境構成を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの全体的な姿をとらえ、自発的な生活と遊びができるよう環境構成を工夫している</p> <p>各種の会議や日々の連携において子どもの全体的な姿を把握・共有し、今の興味や発達状況に合わせた生活の流れや遊びの環境を提供している。子どもが主体的に遊べるよう、室内にさまざまな素材や玩具等を準備するほか、コーナーを設定したり、あえて個別・小集団で過ごせるスペースを設け、ゆったりと過ごせるようにもしている。園庭は乳児・幼児と分け、自然物を採り入れたままごと遊びをしたり、タイヤやフープ等で身体を動かすほか、築山や固定遊具で遊んだり、樹木の林を探索するなど、園内外で子どもが考えて自発的に遊び込めるようにしている。</p> <p>特性に応じた配慮に努め、異文化に触れながら多様性を認め合う心が養われている</p> <p>個々の特性や子ども同士の関わりへの配慮等を話し合い、状況に応じた適切な援助を行うとともに、特別な配慮を必要とする子どもに対しても他児と同じように過ごせるよう職員がそばについて支援するほか、必要に応じて関係機関との連携を図っている。また国の文化やニュース等の話をしたり、ボランティアの方や保護者などが各国の歌や遊びを教えてくれるなどして多文化への興味をひろげ、活動の中で国旗・地図の絵本を見たり、行事における「くじら劇場」の演劇に用いる各国の国旗を皆で描くなど、興味・発展とともに、多様性を認め合う心も養っている。</p> <p>子どもたちが気持ちをわかり合い、異年齢の関わりから相互の育ち合いにもつなげている</p> <p>1・2歳児及び3歳以上児では年齢別の保育とともに、異年齢での活動も展開されている。室内外の遊びを通じて子ども同士の関わりが持たれたり、3歳以上児の各年齢が組み合わせられた「かぞく」や、4つのグループに分けた異年齢での交流も行われるなど、日々の生活の中で年齢相互の育ち合いが促されている。また子ども同士のトラブルの際には、環境の変化や特性を考慮して個別に思いを受容し、言葉を添えて子どもの気持ちを橋渡しするほか、年齢に応じて子どもたちで話し合いながら、互いの気持ちをわかり合えるように見守っている。</p>			

2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>送迎時の会話やノートのやり取りで、園と家庭での子どもの様子等を伝え合っている 朝の受け入れ時には子どもの家庭での状況や保護者からの伝達事項を聴き取り、クラス内で共有するほか、日中の様子は口頭及び短時間のミーティングにおいて情報共有を図っている。これを踏まえお迎え時に保護者へその日の子どもの姿や健康状態等を細やかに伝えられるようにしている。なお、0～2歳児は「子育てノート(連絡帳)」で園と家庭での子どもの生活状況や様子などを伝え合うほか、幼児も要望があればノートを活用して必要事項の共有をし、壁新聞で各クラスのその日の活動や子どもの様子を伝達している。</p> <p>生活習慣の確立に向け、子どもの意欲等を尊重し、家庭との連携のもとで進めている 基本的な生活習慣の確立に向けて、各種の便り、面談や送迎の連携などを通して進め方や時期などを知らせるとともに、園と家庭との状況を共有しながら無理なく進めている。乳児は緩やかな担当制をとり、職員との愛着関係の構築を基盤として、安心感を持てるような関わりと生活面を中心とした支援に努めている。食事・着脱・排せつなどにおいて、それぞれの子どもの「自分でやりたい」という気持ちを尊重し、必要時の声かけや援助などで意欲を高めながら、子どもが取り組む姿を見守り、自分でできた満足感や達成感が得られるようにしている。</p> <p>子ども一人ひとりの生活リズムや体調等に応じ、睡眠・休息の確保に努めている 0～2歳児の部屋には畳のスペースがあり、子どもの心身の状況によっていつでも落ち着いて寝られるようにするほか、特に乳児は月齢や子どもの状況によって午前寝や夕寝をするなど、それぞれの月齢や体調に合わせて休息がとれるようにしている。また午睡の際には職員が子どものそばで優しく入眠を促すほか、早く起きた子どもは別室で過ごすなど、個別の状況に合わせた支援を行っている。また5歳児は年明け頃から徐々に午睡時間を短くしてゆき、個別の状況に配慮しながらも散歩や室内遊びなどに取り組み、就学に向けて生活リズムを整えている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの今の興味等に即した主体的な活動が行われている 会議等で子どもの今の姿を共有し合い、そこから生じる活動の発展性を意識しつつ、子どもの姿から興味や関心を見通して計画に反映させるとともに、興味の広がりを次の活動につなげ、豊かな感性が育まれる遊びが展開されている。「おはようの時間」では今日・今週の予定を伝え、子ども自身の自主性を尊重した生活ができるようにするほか、3歳児後半頃から紹介コーナーとして子どもがしたいことを皆に伝えるなど、自分の気持ちを表現したり、わかり合う機会が随時設けられ、子ども同士の関わりからも自然と社会性が育まれている。</p> <p>異年齢での「家族」やグループ等での活動を通じて相互の育ち合いにつながっている 3～5歳児がそれぞれ1名ずつの一組の「家族」となり、協力してヒヤシンスを育てたり、散歩や工作遊びを楽しむほか、「プレイデー(運動会)」前にはグループ対抗で綱引きや玉入れなどで遊んだり、グループで遊ぶ時間を作って部屋に分かれて遊んでゆく中で、子どもの関わりや遊びの広がりがもたらされている。また4・5歳児は朝の合同保育の際に自由に制作活動に取り組んでおり、4歳児が5歳児の姿を見て憧れの気持ちを持ち、そこから活動意欲が高められたり、1・2歳児も散歩やフリースペースでの自然な関わりから相互の育ち合いが促されている。</p> <p>戸外活動を通じて、多彩な体験や自然との関わりが持てるようにしている 園庭には柿・ミカン・ビワ・梅などの実のなる木が植えられ、収穫して味見したり、冬至の際にはもらった柚子で足湯を楽しむなど、季節に応じた変化を体感している。また安全面に配慮して乳児・幼児で別々の園庭があり、あえて植栽や段差などを設け、子どもたちが探索したり、草花を摘んで見立て遊びをするなど、身体を動かしながらも、子どもたちが考えて遊べるようにしている。雨天でもテラスで身体を動かして遊べるほか、散歩に出かけて地域の方々と挨拶を交わしたり、公園で弁当を食べるなど、戸外活動を通じた多彩な体験ができるようにしている。</p>		

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>生活の節目で子ども同士の関わりを深め、行事後も遊びの継続や発展につながっている</p> <p>行事は生活の中での節目であり、子どもたちが楽しみ、意欲的に取り組めるようにしている。「プレイデー」の前には子どもの意見を聴き取り、発達に応じた種目内容を決め、縦割りのグループで遊びながら関係を深めてゆき、当日はルールのある遊びを皆で楽しめるようにしている。また「てるてるぼうず祭り」では子どもの制作の展示をするとともに、年長児が太鼓を披露する機会となっており、年下の子どもの憧れにもつながっている。行事後は他クラスが取り組んだ内容を年下の子どもが大人を介して行うなど、遊びの継続や発展がなされている。</p> <p>子どもたちがやり遂げる達成感や表現する喜びを感じられるようにしている</p> <p>5歳児の「お泊まり保育」では事前に懇談会で内容を詳しく説明をするとともに、書類を配付して園の思いを伝え、理解を得られるようにしている。当日は園外体験ができる場所へ出かけ、昼間は川遊びで自然の中での体験を楽しみ、夕飯は皆で一緒にカレーを作って食べるとともに、親元を離れて一晩を過ごし、みんなでやり遂げる喜びと達成感を感じられるようにしている。また「お楽しみ会」では子どもたちが衣装や道具を作ったり、劇の内容を考えるなどし、子ども主体で楽しみながら作り上げる楽しさや表現する喜びを味わっている。</p> <p>職員以外の大人とのさまざまな関わりが、子どもたちの視野を拡げている</p> <p>「バオバザール」は保護者主体として子どもと一緒にゲームや劇場等の内容を考え、当日は子どもたちが劇に出演したり、制作したものを保護者が演劇で使用するなど、保護者・子どもが一体的に取り組み、地域の方との交流も深める機会となっている。「昔遊びの会」では祖父母たちと日本の伝承遊びを楽しみ、「小正月ふれあいの日」には近隣の小学校で地域の人々や小学生と折り紙制作や昔遊びなどで交流を深めている。地域の老人会との交流会では3歳児と一緒に遊んだり5歳児が太鼓を披露するなど、職員以外の大人との関わりが子どもの視野を拡げている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>長時間の園生活の中でも情緒の安定や遊びの保障などに配慮している</p> <p>職員が日々の短時間の情報交換を行い、朝・夕の配慮の違いを踏まえ、子どもが疲れてきた時には見守りや寄り添った配慮をしたり、朝の保護者と離れた時の甘えも受け入れられるような関わりをするなど、園での長時間の生活や家庭での状況等も踏まえたそれぞれの配慮に努めている。また中2階や押し入れの下的空間などを巧みに活用し、子どもがゆったりしたり、絵本を読むなど、一人になりたい気持ちを尊重して園内においてもそれぞれのプライベート空間が持てるようにするほか、ブロックや積み木などの遊びの継続性も保障できるよう工夫している。</p> <p>日中の子どもの様子等を職員間で共有し、保護者に伝達漏れがないようにしている</p> <p>日中の子どもの様子や健康状態等は各クラスの代表者を交えた毎日の短時間でのミーティングが行われ、子どもの変化やその日のエピソード、保護者への伝達事項などを共有するほか、出席できない職員には口頭で伝える仕組みとなっている。これらを踏まえ、その日の遅番担当が保護者に子どもの様子等を伝えている。また3歳以上児は「壁新聞」、0～2歳児は「子育てノート(連絡帳)」を活用し、その日の活動等を伝えるほか、内容によっては担任が居残り、直接伝えたり、面談等でじっくりと話ができるようにしている。</p> <p>さまざまな年齢の子ども同士の関わりから相互の刺激や育ち合いにつながっている</p> <p>4・5歳児は当番活動の一環として配膳や準備の手伝いを行うほか、昼寝時に5歳児が自発的に年下のクラスに出向いて子どもの寝かしつけの手伝いをしたり、チャボのお世話、朝の集まりや食事時の声かけを行うなど、日頃の活動を通して年齢相互の育ち合いにつなげている。また朝夕の時間帯では共同で制作に取り組んだり、散歩や園庭での活動も乳児・幼児でそれぞれに関わる機会もあるほか、1・2歳児はフリースペースで小グループでの遊びや異年齢での関わりもあり、年上の子どもの姿を見て、自然と年下の子どもの憧れや刺激ともなっている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p>自分で食べる意欲を尊重し、食を楽しみながら完食する喜びが得られるようにしている</p> <p>献立には和食中心で旬のものを採り入れ、薄味を基本として素材本来の旨みを感じられるようにするほか、季節ごとの行事食なども提供し、より一層食事を心待ちにできるような工夫もしている。また配膳は子どもの目の前で行い、個々の様子を見て量の加減を行うほか、4・5歳児になると子どもが他の子どもの量も考えて見本を見ながら自分でよそうなど、それぞれの発達に応じて自分で取り組み、完食できる喜びを味わえるようにしている。幼児の各テーブルには子どもたちが戸外で見つけ、摘んできた花が飾られ、食事の雰囲気に彩りが添えられている。</p> <p>食物アレルギーや離乳食などの個別の状況に応じ、安全な食事提供を行っている</p> <p>食物アレルギーの場合は保護者からの詳細な確認と医師の診断書に基づいて代替・除去食を提供している。当日は個別トレーに名前・除去内容を記した紙を置き、複数名での確認のうえで配膳し、職員が食べる際にそばにつくなどして、事故防止に努めている。また0歳児室に調理室が隣接しており、栄養士が子どもの状況を見て離乳食の形状等の柔軟な対応ができるほか、担当がその日の体調や家庭での様子を保護者から聴き取り、登園時間や月齢に応じて食事開始の時間に時間差をつけるなど、個別の状況に即した配慮がなされている。</p> <p>五感を通して食の営みを体感し、食への興味や意欲を培っている</p> <p>園庭等の野菜等を育て、食材等に触れる・においをかぐ・味見をするなど、五感を通して「くらし」を支える食の営みを感じられるようにしている。庭の樹木になる梅を収穫して梅ジュースにして皆で飲んだり、調理と一緒に連携して梅ぼし作りに取り組むほか、園庭の傾斜で栽培した芋を収穫し、つるを使ってリース制作につなげたり、焼き芋にして皆と一緒に食べる体験が得られている。さらに園庭でサンマの炭火焼きを行い、ホールで鮭の解体を見たり、年長児が籾から稲を育てて米を収穫し、炊いて味わうなど、多彩な体験が食への興味や意欲を培っている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子ども自身で健康や安全を意識してケガ・病気を予防できるよう指導を行っている</p> <p>感染症予防に向け、年齢や発達に応じて手洗いやうがいを励行するほか、幼児クラス向けに看護師による年2回の手洗い指導で手本を見せながら約束ごとやその必要性を伝えている。また看護師や歯科衛生士等による歯磨き指導も行われ、正しい歯ブラシの持ち方や磨き方を教わっている。戸外活動では保育士から話をよく聴くことや目の届く範囲で遊ぶこと、移動時は手をつなぐなどの注意を伝え、「プール開きの会」などの集会では年長児から年下の子どもたちに安全を促すなどして、子ども自身で安全等を意識してケガ・病気予防を心がけられるようにしている。</p> <p>看護師や関係機関が連携して子どもの健康の維持管理を行っている</p> <p>子どもの健康状態は日々の受け入れ時の職員の視診のほか、保護者からの伝達等で把握し、「昼の10分ミーティング」で各クラスの状況が共有され、看護師も各クラスを巡回して把握した状況を保健日に記録するとともに、子どものその日や急な体調変化に応じたケアに努めている。また、年齢に応じた期間で身体測定を行い、発達状況を確認するほか、定期的な健康診断や歯科検診で嘱託医によって健康状態を把握し、結果を日々の支援に活かすとともに、保護者にも報告するなどして子どもの健康の維持管理に努めている。</p> <p>感染症等の保健情報を提供して保護者の啓発につなげられるようにしている</p> <p>SIDS対策として、睡眠中の呼吸や姿勢などのチェックを0・1歳児は5分、2歳児は10分間隔で行い、「生活睡眠チェック表」に記録し、3歳以上児についても保育者が寄り添って睡眠中の様子を見守っている。園内で感染症が発生した場合には、感染症の発生状況の玄関への掲示によって保護者に注意を喚起して蔓延防止に努めている。保健所等の行政からの情報も一緒に掲示するほか、「入園のしおり」に情報を掲載して入園時に説明し、保健便りなどを通じても情報を提供している。またSIDSについては行政の啓発ポスターも掲示している。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者とのコミュニケーションを大切に把握した個別事情に応じた支援に努めている</p> <p>保護者とともに子育てを進めることを保育目標に掲げ、日頃のコミュニケーションを大切に心を通わせ合うことを大切に考え、親睦会などの保護者との交流機会も随時設け、信頼関係の形成につなげられるようにしている。その考えのもと、保護者や家庭などの個別事情を日々の会話や面談等を通じて把握し、園としてできる個別配慮に努めている。また就労面への配慮として、行事は極力多くの保護者が参加しやすい日程とするほか、急な残業による延長保育の利用等に柔軟な対応を心がけ、利用者調査の結果からも高い評価を得ていることがうかがえる。</p> <p>園の取組や子どもの成長について、保護者との共通理解の形成に取り組んでいる</p> <p>園目標の実践として園の取組や子どもの成長を保護者と相互理解が得られるよう取り組んでいる。保育参観は保護者の都合に応じて随時受け付け、日常のクラスの活動や子どもの様子を見てもらう機会としている。懇談会では、春にクラスの年間目標や年齢・発達に応じた特徴、成長の見通し、秋には取り組んだ結果と今後の取組、年度末には年間の振り返りを伝えている。1・2歳児では茶話会形式で歓談の場を設け、育児の悩みに関するテーマをもとに出席した先輩保護者のアドバイスを受けるなど、園だけでなく保護者の経験も共有できるようにしている。</p> <p>さまざまな機会で作せられた保護者の声を園運営等の改善に活かすようにしている</p> <p>園内に意見箱を設置したり、個人面談を通じて個人の要望・意見を聴き取る機会とするほか、行事後の連絡帳等を通じた感想などから課題を抽出したり、利用者調査など、さまざまな機会を通じて把握した保護者の意向を保育や運営等に反映し、サービスの向上につなげられるよう取り組んでいる。保護者の協力のもとで開催する「パオパザール」では、アンケートで寄せられた感想を踏まえ、乳児世帯の負担を軽減したり、門扉が低いとの声をもとに防犯カメラを増設し、録画もできるようにして安全面を強化するなど、さまざまな改善に反映させている。</p>		

9 評価項目9 地域のニーズに即した子育て支援を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の子育て支援として、さまざまな活動を展開して切れ目のない支援に取り組んでいる</p> <p>地域の子育て支援として、育児相談や保護者のリフレッシュ等に利用可能な一時保育「らっこ組」を行うほか、若葉台駅前の市民ホール2階の交流施設では、育児相談やわらべ歌などを楽しんでもらえる「出張ひろば」を実施して園の広報にもつなげている。さらに「子育てひろば」事業として、「ウェルカムベビーの会」「赤ちゃんの会」「あそびの会よちよち」「あそびの会とことこ」「おしゃべりの会」「土ようひろば」など、子どもの月年齢や保護者を対象にした多様な活動を展開して、妊娠期からの切れ目のない支援に取り組んでいる。</p> <p>広報に努めて利用促進を図り、在園児の保護者の協力も得ながら活動に取り組んでいる</p> <p>「ウェルカムベビーの会」では、妊娠期から生後4か月の赤ちゃんがいる家庭を対象に行っており、園の手作りおやつを食べながら、利用者の情報交換を通して交流できるように取り組んでいる。今年度利用の促進を図るべく、駅の掲示板、近隣の歯科医院やスポーツジム、健康センター、児童館などさまざまな施設での情報発信に努め、地域から積極的な参加が得られている。また外部講師による子育て講座やマタニティー限定のフリーマーケットも、今年度企画・実施しており、在園児の保護者からの出展物の提供を受けるなどの協力を得て開催している。</p> <p>支援事業の情報発信に努めつつ、実施ごとや年間の評価反省を行い次年度につなげている</p> <p>地域の子育て支援では、専門職を配置するほか、地域のNPO団体の協力も得ながら、園のひろば委員会が中心となって運営している。利用促進に向けて、園のホームページや専用のブログを通じて情報発信を行うほか、子育て支援情報誌「スイミー通信」を定期的に発行している。各活動の評価反省を行うとともに、利用者からの感想の聴き取りやアンケート実施を通じて課題の抽出やニーズの把握に努め、毎月のひろば委員会で検討するほか、年度末に年間の振り返りを行って次年度の企画に活かせるよう取り組んでいる。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	自分たちで考え、「くらし」を創り上げる中で、多様な興味や活動の発展につなげている	
内容①	<p>幼児では子どもと話し合いながら「くらし」が創られ、カレンダー等で先の見通しを示し、自分で考えて生活できるようにしている。また遊ぶものを作ったり、作る過程を楽しめるよう、色紙の切れ端や毛糸などの素材を準備するほか、年長児になると木工体験として織り機を作り、それを活用してポシェットの制作に取り組んでいる。さらにセミ取りの体験から命の大切さを皆で考える機会となったり、外国の文化や風土を教えてもらい興味がひろがるほか、果実を用いて足湯にするなど、身近な環境から紡がれる体験が子どもの育ちをより豊かにしている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-9	地域のニーズに即した子育て支援を実施している
タイトル②	地域の関係機関や利用者との協働を通じ、切れ目のない子育て支援の実施に注力している	
内容②	<p>地域の子育て支援として多様な活動に取り組みながら、今年度は妊娠前から切れ目のない支援ができるようにしている。図書館・児童館・子育てサポートなどの市内の各支援グループの集まりの中で、園の取り組んでいる子育て支援や考え、その必要性を説明し、市内での不足箇所の気づきや今後の事業展開の検討につながるような働きかけをしている。また子育て支援の実施にあたっては、活動日を知らせるタペストリーを制作したり、利用者の特性を活かした演奏会も企画されるなど、園のみならず地域の方々とも協働をしながらこれらの推進に取り組んでいる。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-6-3	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している
タイトル③	「安全防災委員会」が中心となって、安全・衛生・防犯面での対策に取り組んでいる	
内容③	<p>「安全防災委員会」では毎月1回の会議で避難訓練の反省と次につながる検討を行うほか、その日に合わせて園内外の安全点検の実施とその報告がなされ、必要な処置等の検討と即時の対応も行われている。また保護者の声を踏まえて今年度監視カメラの増設等を行ったほか、侵入しやすい経路の門を施錠できるようにし、併せて朝の登園時間帯に職員2人を配置するなど、ハード・ソフトの両面で防犯対策の強化を図っている。その他にも空気清浄機を24時間稼働させて、衛生的な生活空間の確保と感染症の予防につなげるなど、さまざまに取り組んでいる。</p>	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園での「くらし」がすべて子ども中心として行われ、生活や遊びから行事へとつながりのある活動が展開されている
	内容	子どもが主体的な生活や活動ができるよう遊び・生活の環境を整え、さまざまな素材や玩具で自由に遊び込んだり、子どもたちがイメージを拡げ、それを共有しながら共同での遊びもできるなど、個別・小集団での遊びが展開されている。また行事は一つの節目としてこれまでの取組を発表する機会となっており、日頃からの興味を発展させ、劇遊びや運動、制作などを子どもたちが自ら作り上げ、保護者の参画も得て、ともに楽しめるような工夫がなされている。これらはすべて子ども中心として、園での「くらし」からつなげられている。
2	タイトル	園全体で子ども一人ひとりの全体的な姿をとらえ、それぞれの興味や伸びようとする意欲を尊重しながら、個別・集団での育ちを支えている
	内容	保護者との日々の連携に努め、家庭での状況を把握するほか、クラス会議や乳児・幼児のブロックの「子どもの話」で一人ひとりの育ちや子ども同士のやり取りなどのエピソードを交えた内容を伝え合うとともに、個別の配慮や支援の方法などの認識を深めながら、園全体で子どもの主体性を尊重した適度な声かけと配慮に努めている。また子どもの興味や今の姿を多面的にとらえて必要な環境を整えるとともに、その子自らの伸びようとする意欲を見守り、年齢別・異年齢での子ども同士の関わりも支えながら、相互の育ち合いへとつなげている。
3	タイトル	行事や保育への参画を通じ、保護者とさまざまな協働に取り組みながら、思いを揃えて子どもの成長への支援に取り組んでいる
	内容	保護者会や情報発信を通じて子どもの育ちを共有するほか、保育参加では保護者の職業や特技を活かして、子どもたちに教える機会が持たれており、看護師である保護者が絵本使って排便の大切さを伝えたり、英語に堪能な保護者が一つの歌を複数の言語で教え、世界を伝えるなどしている。また「ワークショップ」では保護者が園と一緒に園庭や設備などの環境整備に取り組み、「昔遊びの会」で祖父母から伝承遊びを学んだり、「バオバザール」では年長児と保護者による共同の劇が発表されるなど、園と保護者が協働して子どもの成長への支援に取り組んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	今後取り組むべき園の課題について、活動内容や進捗・達成の指標の明確化、現場とのより緊密な連携を図ることが期待される
	内容	27年度を起点とする5か年の重点課題及び工事・補修等に関する計画と、当年度の目標・取組や園の組織・活動の概要を記した年度事業計画を作成している。今年度着手した、地域に対する出産前からの「切れ目のない」支援に向けた行政や各機関との連携をはじめ、今後の中・長期的な課題をより具体的に定め、必要な取組やその進捗・達成の指標を明確にするとともに、その実行や定期的な進捗確認を含め、一連の過程において現場の担当職員との連携・協働を深めることで、課題解決に計画的かつ組織全体で取り組み、成果の獲得につなげることを期待したい。
2	タイトル	個別の目標管理を、今年度策定された職階ごとの能力指標とも連動させるなど、人材育成制度の精度・機能の向上を図られたい
	内容	法人全体で人材育成制度の整備を進め、個別の資質向上を図る仕組みの検討を重ねている。当園では各職員が年度末に振り返りと次年度の目標設定を行い、その進捗を園長との面談で確認するほか、今年度から「キャリアアップ計画表」に内外の研修参加予定などを記載している。今後、園が期待する成長・研鑽やOJT・自己研鑽なども必要に応じ明示するなど、指導者と本人が理解をともにして資質向上を図る工夫や、今年度策定した段階別の能力・行動の指標を、前述の目標設定や研修派遣とも連動させるなど、育成・教育制度としての機能向上を図られたい。
3	タイトル	子どもの育ちを切れ目なく継続的に支援する環境づくりの中心となるべく、さらに活動の充実や各機関との連携を図りたいと考えている
	内容	地域への子育て支援として、園を拠点とした一時保育や各種講座、体験と交流の場の提供などに加え、出産前のケアに関する関係機関への資料提供、地域内の保育所や図書館・児童館等との協力関係の構築など、多様かつ積極的な取組を行っている。こうした活動の背景には、当園を含む地域内の各機関がそれぞれの機能を発揮し、妊娠・出産から就学までの家庭の育児や子どもの育ちを地域全体で切れ目なく支援する、その環境づくりと連携の中心たろうとする思いがある。今後も活動や情報発信の充実に取り組む意向であり、その進展と結実を期待したい。